

ひとつの授業をみんなで～周りを巻き込みたくなる授業づくり～

野沢温泉村立野沢温泉小学校 教諭 山崎満美

1. 跳び箱運動への意識

<教師の意識>

示範ができない

安全にできるのか
不安

跳び箱運動

<子どもの意識>

得意！
やりたい！

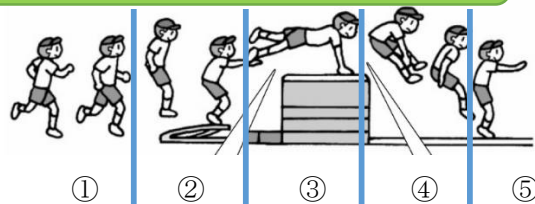
苦手だな
こわいな

体育が苦手な子どもたちも教員も楽しめる授業作り

2. 子どもたちの願いから

A児:「みんなと同じように大きな跳び箱が跳びたい!」

大きな跳び箱を跳ぶには?



- ・踏みきりなのか着手なのか
- ・着地が怖いと踏み切れないかもしれない
- ・子どもたちの様子では踏み切りはできている

手を突き放すことが必要なのは

3. みんなでひとつの授業を

「手をつきはなす」とは・・・?

感覚がつかめない

子どもたちが理解する
様子を想像できない

みんなで授業を見る事で
子どもたちの姿をより深く観察



教師が示すポイント

手をつきはなして跳ぶ

手をバンと振り下ろして跳ぶ

子どもたちのつかんだコツ

4. 実践から学んだこと

- ・みんなで考え、話しあい、試してみる→みんなでやるって楽しい!
- ・「苦手だから」と避けることなく、「苦手だから」こそ挑戦→できるって楽しい!